



校訓

めざす学校像

以信為本
(信を以って本と為す)

時代の進展に対応し地域社会に貢献できる職業人を育み、生徒・保護者・地域から信頼される学校 (高校卒業時に大学生と同等のビジネススキルを有し、生徒の夢や希望が実現でき、地域に愛される学校)

何ができるようになるか

何が身に付いたか

- 商業科での学びを人生や地域社会に生かすことができる。
- 商業教育を通して、豊かな人間性を培うことができる。
- 社会的・職業的に自立できる知識・技能を習得できる。
- 高校生活の様々な場面で習得した思考力・判断力・表現力を生かして未知の状況に対応できる。

- 異文化や多様性を理解受容するマインドセット
- 聞き取り理解できる傾聴力と議論し発信できる表現力
- ビジネスに関する専門的な知識と倫理観を伴った高い実践力
- 商業科の学びを通じて地域社会に貢献できる課題解決力
- 社会の変化に柔軟に対応できる自己変革力

育てたい生徒像

- 自主性に富み、信用・責任を重んじる(健康やかな体と心を培い、学び続ける) 生徒
- 協調性に富み、礼節・勤労を重んじる(共に生き、社会に役立つ協働できる) 生徒
- 創造性に富み、真摯・実行を重んじる(自らを高め、新たな価値を生み出す) 生徒

生徒の実態

- 素直に頑張ろうとする。
- 資格取得への意欲が高い。
- 部活動への積極的参加。
- 健康管理ができています。
- キャリア形成を意識化する。
- 基礎学力を定着する。
- 家庭学習を習慣化する。

めざす教職員像

- 生徒一人ひとりの特性に合った支援ができる情熱あふれる教職員
- 研修に励み、資質の向上、指導方法の工夫と改善に努める教職員
- モラルを高め、人権感覚を磨く職務に誇りを持つ教職員

何を学ぶか

- 学校教育を学校内に閉じず、地域や課外と連携する。
- めざす学校像を実現するため、教科横断的な視点で教科内容を配列する。
- 教科の『見方・考え方』を明示し、教科を学ぶ意義を具現化できる指導を行う。
- 望ましい勤労観、職業観の育成、職業人に求められる倫理観を育成する。

どのように学ぶか

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程を改善する取組。
- カリキュラム・マネジメントの確立。
- 地域の人的・物的資源を活用する実践的な学習活動。
- 学年間や教科・領域間のつながりを踏まえた活動計画。
- 自己の成長をメタ認知できる記録と振り返りの実践。
- 学校生活のあらゆる場面でキャリア教育を推進。

平成 30 年度の重点目標 (実施するために何が必要か)

商業科
平成 30 . 31 年度教育課程研究指定校としての取組

教職員が健康的に教育活動に従事できる環境の整備

- ワーク・ライフ・バランス意識の醸成
- 部活動ガイドラインの策定
- 業務の平準化を目指したチーム学校の実現

帰属意識と自己有用感の涵養

- 学校行事と生徒会活動の充実
- 教育活動として望ましい効果的・効率的な部活動の推進
- 主体性と協働意識を育むためのボランティア活動、地域交流活動への積極的参加
- 社会性を備えた人間関係を構築するための高大・小中高・異校種連携講座の充実

望ましい学習習慣、生活習慣の確立

- 学習成果の発表の場の提供
- 学年や教科と連携した予習・復習などの学習習慣の定着
- 時間の厳守、挨拶の励行
- 読書活動の推進

授業力の向上と確かな学力の定着

- 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- 各教科の研究授業の活発化
- 言語活動の充実と「コミュニケーション能力の向上
- カリキュラム・マネジメントの推進

キャリア教育の一層の充実

- 望ましい職業観と勤労観を育成できる3年間を見通した進路指導の実施
- 地域産業の活性化を牽引できる素養となる高度な資格取得への挑戦
- 地域社会と連携した様々なビジネス体験の実施と「ビジネスマナー教育の充実